

# 北薩の授業づくり3ポイント

「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した  
〔単元・題材全体及び一単位時間〕の授業づくりポイント

- I 年間指導計画をもとに、単元の指導事項を確認
- II 該当する学習指導要領(解説)で具体的な内容や系統性を確認
- III 教材研究(教材, 子供の実態)
- IV 単元の目標, 評価規準を設定
- V 単元の「指導と評価の計画」を作成

## 1 目標の明確化

課題(問題)意識を高める「めあて」

- 子供が自ら問いをもつ場面の設定
- 学習の「めあて」の可視化
- 解決の見通しをもつ場面の設定

## 2 子供が選ぶ・決める学び

個別最適な学び

- 子供一人一人の特性, 学習進度, 到達度等に応じた指導方法, 教材等の工夫(指導の個別化)
- 子供一人一人の興味・関心, キャリア形成の方向性等に応じた学習活動, 課題に取り組む機会の提供(学習の個性化)
- 子供に委ねる場の設定(多様な選択肢による自己選択・自己決定)  
※ 子供に委ねる視点【学びの羅針盤P.15参照】

「道具・活動」, 「学習形態」, 「学習時間」, 「解決方法・考え方」, 「課題・めあて」の5つの視点

協働的な学び (安心感のある集団の中で)

- 自分の考えをもつ時間の確保
- 視点を明確にしたペアやグループでの話し合い
- 「なぜ」「どうして」を追究する学び合い

## 3 振り返りの充実

学びのまとめ・振り返り

- 子供による「まとめ」
- 「分かった・できた」(学習内容・学習方法)の実感
  - 分かったこと, できるようになったこと, 考えたこと
  - よかった学び方(～したら分かった, できた)
  - 友達の考えで「なるほど」と思ったこと
  - さらに知りたいこと, 次にやってみたいこと

確かめテスト等による確実な定着

- 良問の活用(全国学力・学習状況調査等の問題)

次時・家庭学習の確認

- 家庭学習(復習・予習)と授業の連動
- 自主学習(画一的な宿題からの脱却)

一体的充実

「めあて」と「まとめ」の整合性

